



遠藤 智 議員



元気ツズ (保健センター)

遠藤 男女共同参画プランの中で、各種団体の女性登用率の推進状況はどのようになっていますか。

町長 平成21年の女性登用率は31.3%であり、平成15年の26.9%と比べ4.4%伸びています。

女性の登用率は上がっているか
山田町長／以前に比べて伸びている

独自の減免措置を行なえ

山田町長／独自の減免措置は禁止されている

遠藤 生活保護基準以下の年金生活者からの介護保険料の天引きについて、独自の減免措置を行うべきではないですか。

町長 本町の介護保険料は、全国でも5番目に低く、独自の減免に関しても一定の収入ラインを基準とした一律減免の禁止等、厚生労働省で定める原則を遵守するよう求められています。

町長 集落支援に関する先進地視察や研修会等に参加して情報収集に努めるとともに、先ごろ実施した集落活性化調査の結果などを踏まえ、筥平地域への有効な支援策を検討していきます。

遠藤 高齢化が著しい筥平地区においては、集落支援員を認定し、草刈りをはじめ生活を守る地区独自の事業を予算化するべきではないですか。

再発防止に努めよ

山田町長／チェック体制を強化したい

遠藤 これまで10年間も家屋の固定資産税評価額の誤りに気づかなかったのはなぜですか。

平成10年度以前の物件の取り扱いおよび再発防止対策はどう執られたのですか。

町長 平成21年度は評価替えの年度にあたるため、課税作業を進めていたところ、再建築費が未入力の家屋等が発見され、課税の誤りに気づきました。

本町の固定資産課税台帳等の保存期間は10年間です。それ以前のは還付できません。

本年4月より再発防止システムを構築し、加えてグループ内における課税データのチェック体制も強化したところです。

遠藤 平成20年度決算を踏まえ、経費削減の推進状況はどのようになっていますか。

町長 民間委託の推進や定員管理の適正化等、経費の節減に努めています。今後もグループ制等組織の評価・検討など、事務事業の合理化を進めていく考えです。

経費節減に努めよ

山田町長／事務事業の合理化を進める

筥平地区で集落支援員を発足させよ

山田町長／有効な支援策を検討していく

追跡

レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成21年3月定例会 ●一般質問
門馬 巧 議員

光ファイバー網を整備せよ

本町が情報過疎地にならないためにも、早急に高速ブロードバンド通信敷設整備に向けて調査・研究をし、情報化をはかるべきではないですか。



山田町長／

必要性は認識している

高速ブロードバンド環境整備の必要性は認識していますが、光ファイバー網の整備費用は、およそ1億5,000万円から2億円程度を要するため、財政状況、補助制度の活用や事業完了後の光ファイバー網の利活用等について、今後検討していきます。



9月定例会で敷設事業費を予算化

9月定例会において、光ファイバー網敷設整備事業費1億5,738万円が予算化されました。

これは、国の経済対策における公共投資臨時交付金を活用するもので、事業費全体の9割程度が交付されるものです。

ただし、先ごろ発足した民主党鳩山政権においては、新たに設置する国家戦略局において、国の平成21年度補正予算を見直す方針を打ち出していることから、この事業が交付対象から外されてしまう可能性もあります。

8人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所見を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）